



令和6年度 事業報告

こどもだいすき

おもいやり

こころのふるさと

社会福祉法人 戸越会

東戸越保育園

令和7年3月31日

令和6年度 法人事業報告

(令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日)

社会福祉法人 戸越会

令和6年度・社会福祉法人戸越会 法人事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

<経営内容>

① 実施事業

◎ 定員 70名

(年齢内訳) 0歳児: 9名 1歳児: 10名 2歳児: 12名
3歳児: 13名 4歳児: 13名 5歳児: 13名

◎ 開所時間 午前7時30分 ～ 午後6時30分

◎ 延長保育時間 午後6時31分 ～ 午後7時30分 (有料)

保育標準時間 11時間

保育短時間 8時間

◎ 東京都保育サービス推進事業, キャリアアップ補助金支援事業

・特別保育事業等推進加算

0歳児保育, 0歳児延長保育, アレルギー児対応, 障害児保育事業

・地域子育て支援推進加算

小中高校生の職場体験受入れ, 保育所体験(英語あそび他), 妊婦または4ヶ月児未満の講座

・保育拠点活動支援

(身体測定、離乳食講座など)

ボランティア, 実習生の受け入れ

◎ 「社会福祉充実計画」に沿って実施

② 事業経営方針

◎ 「社会福祉充実計画」に則り、令和6年度の計画を遂行。

◎ 「保育所保育指針」をベースに保育指導計画を立案し、経営理念や保育方針、保育目標に沿って保育を実施。

◎ 子どもの「最善の利益」を第一に考え保育を実施。

◎ 個人情報の取り扱いや、不適切保育防止・虐待防止・ハラスメント防止、人権保護、に努め法令を遵守。

◎ 地域貢献の為、子育て支援事業等を通し地域交流に力を入れ社会的責任を全うした。

◎ 保育の主体性を追求し、職員一人ひとりの質の向上を目指し、組織力、チーム力を高めた。

◎ 「英語あそび」を通し、0歳児から全園児を対象に異文化に触れ、国際性豊かな子を育んだ。

◎ 「健康体育」を通し、たくましく健康な心と身体を育んだ。

◎ 年長児のカキョラムとして「お茶のお稽古」を導入。日本の伝統文化に親しみ、「おもてなしの心」を学んだ。

◎ 委員会活動(安全・保育環境・広報)を継続し、より内容の充実した活動ができた。

③ 情報

◎ 個人情報の保護規程に則り、秘密厳守・個人情報及びプライバシー等の適切な管理に努めた。

◎ 第三者評価受審済み。(令和5年度) 課題克服に努めると共により良いサービスの提供に結び付けた。

◎ 情報提供は、ホームページや一斉メール、園便り等を利用し、素早く正確に行った。

◎ 苦情解決の仕組みや、第三者委員と話す機会を設け情報共有・情報公開を必要に応じて行った。

④ 人材育成

◎ 職員研修計画に沿って、園内研修及び外部研修へ積極的に参加できる体制を整えた。

◎ 経験のある職員は、新入職員に対し、親切丁寧にアドバイスすることを心掛けた。

◎ 全職員が思いやりと協調性を大切にし、互いの存在価値を尊重して、質の向上を目指した。

◎ 異なる考え方に対し、感情的または攻撃的にならず、伸び伸びと意見交換が出来る職場環境が整った。

◎ 会議や委員会活動を促進し、園内の情報共有、報告・連絡・相談システムを強化した。

⑤ 修理修繕

◎ 「社会福祉充実計画」に則り、計画的に修理修繕を実行。

◎ 緊急や臨時的な工事が必要な場合は、早急に対応した。

法 人 本 部

理事名簿

区 分	氏 名	役 職	任 期	事 由
理事長	友寄 貴子	医 師	令和5年6月10日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
理 事	齋藤 麻美	石井こども園 園長	令和6年6月8日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
理 事	小林 恵理子	東戸越保育園 園長	令和5年6月10日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
理 事	浦田 珠実	宝保育園 事務長	令和5年6月10日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
理 事	児玉 貴志	社福) ゆずの木 事務局長	令和5年6月10日～ 令和7年定時評議員会の終結時まで	
理 事	安藤 幸子	元公立保育園 園長 元民生委員	令和5年6月10日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	

監事

区 分	氏 名	役 職	任 期	
監 事	田中 圓隆	本覚寺住職	令和5年6月10日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
監事	上田 知宏	税理士	令和5年6月10日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	

評議員名簿

区 分	氏 名	役 職	任 期	
評議員	越智 克巳	戸越4丁目 町会長	令和3年6月19日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
評議員	山崎 紀子	元民生員	令和3年6月19日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
評議員	松本 麻利	NPO法人「スペース結」 理事	令和6年6月8日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
評議員	小池 節子	元職員	令和3年6月19日～ 令和7年度6月定時評議員会の終結時まで	
評議員	岩垂 秀二	会社社長	令和3年6月19日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	
評議員	矢島 規容子	元民生児童員	令和3年6月19日～ 令和7年度6月定時評議員会の終結時まで	
評議員	藤井 純代	元中学外部評価委員	令和3年6月19日～ 令和7年6月定時評議員会の終結時まで	

◎ 理事会開催報告

	開催年月日	開催場所	出席者数	議 事
1	令和6年5月22日	宮前会館	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事監査報告 ・ 令和5年度決算報告 ・ 令和5年度事業実績報告 ・ 社会福祉充実残額算定シート ・ 定時評議員会招集 ・ その他
2	令和5年6月8日	東戸越保育園	評議員7名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事監査報告 ・ 令和5年度計算書類及び財産目録承認 ・ 令和5年度事業報告 ・ 社会福祉充実残額シート ・ 定時評議員会承認 ・ その他
3	令和6年10月23日	宮前会館	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度上半期事業実績報告 ・ 令和6年度一次補正予算 ・ 報告事項（理事長面接） ・ その他
4	令和7年3月19日	宮前会館	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度 二次補正予算 ・ 令和7年度 事業計画（案） ・ 令和7年度 当初予算(案) ・ 令和7年度 積立金取り崩し ・ 令和7年度 本部繰入金 ・ 令和6年度 品川区指導検査結果 ・ 規程集一部見直し ・ 求人採用の件（イツザイ） ・ 一富士フードサービス(株)契約更新 ・ 社会福祉充実計画進捗状況 ・ 評議員選任・解任委員の選任 ・ 第5回評議員選任・解任委員会開催 ・ 評議員の選任 ・ その他

令和6年度 事業報告

(令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日)

東戸越保育園

令和6年度・東戸越保育園 事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

<h2><経営内容></h2>						
<h3>① 実施事業</h3> <p>◎定員 70名 (実人数 69名)</p> <table><tr><td>0歳児: 9名/9名</td><td>1歳児: 10名/10名</td><td>2歳児: 12名/12名</td></tr><tr><td>3歳児: 13名/13名</td><td>4歳児: 10名/13名</td><td>5歳児: 15名/13名</td></tr></table> <p>◎開所時間 午前7時30分 ～ 午後6時30分</p> <p>◎延長保育時間 午後6時31分 ～ 午後7時30分</p> <p>保育標準時間 11時間 保育短時間 8時間</p> <p>◎法人の実施事業同様 法人の事業経営方針に則り進める</p>	0歳児: 9名/9名	1歳児: 10名/10名	2歳児: 12名/12名	3歳児: 13名/13名	4歳児: 10名/13名	5歳児: 15名/13名
0歳児: 9名/9名	1歳児: 10名/10名	2歳児: 12名/12名				
3歳児: 13名/13名	4歳児: 10名/13名	5歳児: 15名/13名				
<h3>② 事業経営方針</h3> <p>○ 経営理念</p> <p>◎こどもだいすき おもいやり こころのふるさと</p> <ul style="list-style-type: none">・創設者信念のもと「未来の宝」に対して最良の愛情をもって接し、地域の子育て拠点として社会的責任を全うする。・園児の個性を尊重するため養護と教育を一体化した育成を実施し、個々の生きる力・生きる喜びの形成を支援する。・卒園児にとっていつまでも心の拠り所(原点)となり、誇れる保育園であるために、高品質な保育サービス・法人経営を目指す。 <p>○ 保育方針</p> <p>◎大きくなったら、自分の目でみて、自分の耳できいて、自分の頭でかんがえ、正しい道があるき優しい心をわすれずに、立派な働く人になるように</p> <p>○ 保育目標</p> <p>◎健康でたくましい心と体を育む</p> <ul style="list-style-type: none">・よく遊び、よく食べ、よく眠る子ども・自分でできる、仲良くできる、約束をまもる子ども						
<h3>③ 利用者サービス</h3> <p>○ クラス運営</p> <p>◎「保育所保育指針」をベースに「全体的な計画」を立案。また、全職員共通理解のもと一貫性・継続性のある保育を目指し、主体的な保育、及び質の高いサービスを追求した。</p> <p>◎全クラス(0歳児)にコドモンを導入し、各種指導計画を整え、連絡帳のシステムを統一した。</p> <p>◎感染症対策を施し、通常の行事や日常保育を実施した。</p> <p>◎子ども達の日々の様子は、「コドモン連絡帳」や「クラス一斉メール」を利用し、保護者と共有。</p> <p>◎家庭の事情や保護者のニーズを把握し、安心・安全・安定的なサービス提供を目指した。また利用者とのコミュニケーションを大切に考え、連携を図ると共に保護者支援に努めた。</p> <p>◎職員共有の価値観を大切にし、一人ひとりの子どもの自己肯定感を高め、公平な支援をした。</p> <p>○ 保育の特色</p> <p>◎健康な心と体をつくる為、外部講師と一緒に0歳児から全園児を対象に「健康体育」を実施。</p> <p>◎異文化に親しみ、国際性豊かな子を育む為、0歳児から全園児を対象に「英語あそび」を実施。</p> <p>◎5歳児は「お茶のお稽古」を実施。ねらいは日本の伝統文化に親しむこと。目的は「おもてなしの心」を学ぶ為、年長児ならではの行事として保護者を招き「お茶会」も実施。</p>						

- ◎5歳児は年長クラスとしての思い出作りや、協同性を高める為「夕涼み会」に参加した。
- ◎運動会は宮前小学校の体育館を拝借し、3歳児クラスから参加。(乳児クラスは地域未就園児の競技に自由参加)健康体育の担当講師を招き、親子体操で保護者も参加できる機会を設けた。
- ◎生活発表会は荏原文化センターを拝借し、3歳児クラスから参加。大舞台上でスポットライトを浴びながら大勢の前で自分らしさを表現する力を養い、自信に繋げた。
- ◎季節の行事やイベントは多様性・主体性を重視。日々の生活や遊びの延長と捉え、特別な準備などの無理強いはいしない。成功体験を重ね子どもの成長や発達を促し、園児自身が楽しめる内容にした。
- ◎小学校1年生～6年生までの同窓会を開催。卒園時に作成したタイムカプセルを小学6年生が開封。更に6年後の自分へ手紙を書き、高校3年生で再会を果たした。(ようやくコロナ禍の対応から脱出)
- ◎懇談会や保育体験を実施し、子どもの様子を共有。保育体験では普段の園生活をご覧いただくため乳児は変装。幼児はクラス活動に参加し、給食体験も一緒に行った。
また、個人面談を通してご家庭との連携を図り、園児の成長を見守ると同時に保護者支援に努めた。

○ 食育(給食)

- ◎年間指導計画を立案し、年齢に合わせた食育指導を実施。(食事のマナーや作法、野菜の栽培、栄養素の話、命の大切さなど)感染症対策を施しながらクッキングも実施した。
- ◎薄味で味覚を育て、好き嫌いのない子を目指した。(但し、無理強いはいしない)
- ◎仲間と楽しい雰囲気で作食が出来るような環境を整え、感謝していただく事の大切さを伝えた。
- ◎アレルギー除去食・代替食対応に努めた。
- ◎保護者にも給食体験を実施し、ご家庭での参考になるよう努めた。

○ 保健

- ◎手洗い、うがい、手指消毒を徹底し感染症予防に努め、清掃、定期的な玩具消毒も実施。
- ◎感染症の情報および予防対策は、素早く正確に保護者に提供。
- ◎幼児クラスは、絵本や模型等を使用し、体についての保健指導を実施。
- ◎職員会議や園内研修等で職員に緊急時の対応や感染症予防対策、嘔吐処理等を指導した。
- ◎全園児の予防接種の確認作業をし、健康管理に努めた。

④ 子育て支援事業

- ◎地域の保護者へ保育所体験(英語あそび、妊婦・4ヶ月児未満対象の講座など)を提供するため、掲示板やホームページで広報活動をし、園行事への参加を促した。
- ◎小中高校生の職場体験や、ボランティア活動。実習生の受入れ及び指導内容の充実に努めた。

⑤ 苦情解決・第三者評価

- ◎保護者からの相談や苦情に対しては、現場→苦情窓口(主任)→苦情責任者(園長)と「ご意見・ご要望の解決の為に仕組みについて」に基づいて、速やかに対応した。
- ◎第三者委員と語る会を設け、保護者の悩みや相談に応じる体制を整えた。
- ◎令和5年度に第三者評価受審を行い、振り返りや反省会を通してより質の高いサービス提供に努めた。

⑥ 情報関係

- ◎ホームページの書き換えは、定期的に行い情報提供に努めた。
- ◎一斉メールに加え、掲示板や園便り等で情報提供をした。

⑦ 安全管理と環境整備・防災

- ◎園舎および園内の器具、玩具を点検し必要に応じて修理・修繕を実施。
- ◎食中毒や感染症の予防及び情報提供は素早く保護者へ通知し、被害を最小限に留めた。
- ◎安全管理委員会でヒヤリハットを検証し職員会議で周知、事故が起こりにくい環境作りに努めた。
- ◎避難訓練(地震・火災・津波・不審者等)は毎月2回、様々な状況を設定して実施。(火災は必須)
- ◎安全管理委員会で安全計画の見直し及び避難訓練の内容を再検討した。
- ◎新入職員を迎え、委員会活動(安全・保育環境・広報)が充実した。また、職員の個性や強みを活かし、一人ひとりが伸び伸び活動できるようサポート。職員自身のモチベーションアップに繋がった。